

平成25年度第8回宮前区区民会議

平成25年度 第8回 宮前区区民会議

1 日 時 平成26年2月12日（水）午後6時

2 場 所 宮前区役所 大会議室

3 出席者

(1) 委 員 直本委員長、宮崎副委員長、黒沢副委員長、平井委員、田浪委員、豊島委員、大槻委員、岡委員、佐々木委員、山下委員、藤田委員、福田委員、森山委員、本郷委員、太田委員、芒崎委員、浦野委員、大村委員

(2) 参 与 持田参与、竹田参与、石川参与

(3) 事務局

4 議 事

① 3月15日のフォーラムについて

② 第4期区民会議の振り返り

5 傍聴者数 2人

午後6時開会

司会（日下部） どうも皆さんこんばんは。お寒いところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

定刻となりましたので、これより区民会議を開催させていただきたいと存じます。

本日の司会を務めさせていただきます宮前区役所副区長の日下部でございます。よろしく願いいたします。

まず、会議の開催に先立ちまして事務連絡をさせていただきます。本日の会議開催に当たりまして、この会議は川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして公開とさせていただいております。したがって、傍聴、報道機関等の取材許可をいたしておりますので、御了承いただきたいと思います。

また、会議録の作成に当たりまして速記者が同席をいたしておりますので、よろしく願いいたします。

本日発言のございました方々につきましては、後日議事録の確認をお願いいたしますと存じます。よろしく願いいたします。また、確認後の議事録は区役所ホームページへ掲載をさせていただきます。

傍聴の方々につきましては遵守事項をお守りいただき、本日の会議に関するアンケートへの御回答をお願いしたいと思います。

次に、本日の委員、参与の出欠状況等でございます。区民会議の委員さんにおきましては、佐藤委員、白井委員から御欠席ということで御連絡をいただいております。参与につきましては、まだお見えではございませんけれども、竹田参与、持田参与、

織田参与から出席をするということで御連絡をいただいております。また、添田参与からは事前に欠席ということで御連絡をいただいております。

続きまして、議事に先立ちまして宮前区長、石澤から一言御挨拶を申し上げます。では、よろしく申し上げます。

区長 皆さん、改めましてこんばんは。区長の石澤でございます。

2月1日付だったと思うんですけども、毎月——毎月ではなかったですかね。みやまえ区民会議日より、こちらでもう既に御存じだとは思いますが、昨年の12月12日でございますけれども、直本委員長から第4期の区民会議の提案書をいただきました。1年半にわたって皆様方の精力的な議論、そして取りまとめ、本当に御苦労さまでございました。中でも直本委員長、黒沢、宮崎両副委員長、そして佐々木、大槻両部会長、皆様におかれましては、さまざまな場面でリーダーシップを発揮していただきまして御尽力いただきました。御礼を申し上げたいと思います。

さて、この提案書の取り扱いでございますけれども、改めて確認させていただきますと、区民会議条例というものがございまして、この10条に、区長は審議結果を尊重し、必要な取り組みに努める、そういった記載がございます。これまでも、これまでの過去の区民会議でその都度提案書をいただきまして、それぞれ地域の皆さんと連携をしながら予算を確保しつつ実行に移しているもの、そういった事例がありますので、皆様方からいただいた提案につきましても、そういったことで今後しっかり対応していきたいと思っております。

それに当たっては、また皆様に御協力をいただいたり、御支援いただいたり、そういった場面もあろうかと思っておりますので、今後ともどうかよろしくお願ひしたいと思っております。

まことにありがとうございました。以上でございます。

司会（日下部） どうもありがとうございました。

続きまして、本日皆様のお手元に配付してございます資料の確認をさせていただきますと存じます。資料につきましては、いずれも下部中央に資料名とページ番号が振ってございます。

まず、本日の会議次第、これが1枚。

続きまして、後ろにホッチキス留めをしておりますけれども、資料1として「みやまえと出会おう ～魅力発見・活力体験広場～」計画書案、これが12ページ物でございます。

資料2といたしまして、第4期宮前区区民会議アンケート、2ページ物でございます。

資料3といたしまして、平成26年度宮前区地域課題対応事業計画（案）、これが4ページになってございます。

以上が本日の会議資料でございます。落丁等はありませんでしょうか。よろしく
うございますでしょうか。

司会（日下部） それでは、これより第4期区民会議、最後の全体会議になります第8回
会議を開催いたします。

これからの進行につきましては委員長にお願いをいたします。直本委員長、よろし
くお願いいたします。

2 議 事

直本委員長 事務局からの御説明ありがとうございました。第4期の区民会議の委員長を
務めております直本でございます。

今回の第8回区民会議全体会になりますけれども、これが第4期区民会議としての
最後の全体会になります。第7回の全体会は昨年11月20日に行われました。その後
の動きですけれども、先ほど区長の御挨拶の中にもありましたように、12月12日に第
4期の区民会議の提案事項をまとめました第4期宮前区区民会議提案書というものを
区長にお渡しいたしました。これはもう委員の皆様方のお手元に届いていると思いま
すので、御承知と思います。

本年、平成26年に入りましてから、1月22日に川崎市の7区の区民会議の交流会が
行われまして、参加できる委員の方には御参加いただいて、それぞれの区の発表です
とか、相互の意見交換といったようなことを交流会で行ってきたところです。そうい
ったことを踏まえまして、その間、企画部会を何回か行いまして、本日の全体会とい
うような流れになっております。

特に本日は、第4期の区民会議の最後のまとめでございます3月15日に予定してお
りますフォーラムにつきましても取りまとめを行いたいと思いますので、ぜひ皆様方
に活発な御意見をお願いしたいというふうに思っております。

それでは、早速ですが、この区民会議のフォーラムにつきましても、これまで全体会
や企画部会等で審議を経ました内容を発表させていただきたいと思っております。

特に本日は、その発表の中でもそれぞれの役割分担ですとかタイムスケジュールの
確認を最終的に行いたいと思いますので、詳細の説明を事務局からお願いしたいと思
います。よろしくお願いいたします。

事務局（コンサル） それでは私から説明をさせていただきます。資料1をごらんいただ
きながらお聞きいただければと思います。

まず、再確認になりますが、日時は3月15日、土曜日の午後1時半から4時半にな
ります。会場は区役所4階、こちらの会議室のほかに向かいの会議室、廊下等を使いま
す。

タイトルですが、「宮前区区民会議フォーラム みやまえと出会おう ～魅力発見・活力体験広場～」ということで、皆さんのところにも水色の紙でチラシが行っているかと思いますが、既に区役所等では配付を始めております。

開催の目的ですが、区民会議の報告、検討テーマに関する体験や学び、出会いや交流の場、区民会議PRということで、ターゲットは幾つかあると思いますが、まず何よりも、世代交流というテーマでありましたので、多世代の区民を集めて世代交流の場をつくりたいということ、それから、各委員の母体団体、次期委員、そういった方々にも参加していただいて、区民会議への認知、協力を募る。それから、今期の提案に関連する市民活動団体にも声をかけさせていただいて、活動発表、交流の機会を設けるという趣旨で企画をしてみました。

当日は、1時半に開会しまして、開会宣言・挨拶、フォーラムの趣旨説明等を簡単に行います。

次に、区民会議の概要紹介を行います。ここでは提案の内容まではまだ説明せずに、区民会議の仕組みですとか、メンバー紹介であります。こちらは簡単に行う予定です。予定としては委員の皆様にご起立いただいて、今期はこういう委員で活動してきましたという程度で考えております。それから、審議テーマはこういったものを選んでおりますという導入的な紹介になる予定です。

次からがプログラムのメインの内容になるかと思いますが、まず、40分ぐらいかけて、これは特に今回の提案テーマにかかわる市民活動団体さんに御協力をいただく企画です。資料1の一番後ろをひっくり返していただきますと、12ページに会場の配置図がございますが、黒に白抜きで**1**、**2**、**3**、**4**と四角い数字の場所に区内の活動団体さんに活動紹介の展示をしていただき、参加者はグループに分かれて、ブースを回って紹介とか質問を通して活動を知ってもらうコーナーです。それが区民活動自慢ツアーです。

こちらは参加4団体、既に内定しておりまして、1つ目が公園部会にもかかわりませう冒険遊び場、2つ目が今回の提案でもより広げようということで出ています公園体操、3つ目が心部会のほうで支援しようとして具体的に挙がりました、九九の暗唱支援活動をしている風の泉、4つ目が昔の遊びですとか工作等を通じて世代交流している楽々タクミ13に御依頼をして内諾を得ております。

これらを40分のプログラムで展開する予定です。

次に、体験・交流プログラムということになります。こちらは約1時間、時間をとっております。こちらは会議室、幾つかに分かれて行います。主に行いますのは3つの内容になります。

1つ目は、環境人部会に関連しまして公園遊びコーナーということで、こちらは、この向かいの第1会議室のほうでグリーンフォーラム21みやまえさんの御協力をい

ただいて、区内の公園で見られる野鳥のクイズ展示ですとか、あと、丸太を大のこぎりで使って切るコーナーですとか、区内の公園遊びに関する展示・体験コーナーを設置していただきます。

2つ目が、第2会議室で世代間交流ゲームコーナーということです。こちらは、かわさきネイチャーゲームの会さんに御協力をいただきまして、集まった方々、初めて会う方々同士もいるかと思いますが、その中でゲームを通して世代交流、交流を深めていただくというコーナーです。

3つ目が、お休み処と称して、これはそれまでの全体会の説明等もありますが、こちらの大会議室に設置しまして、ちょっと休憩したりお茶菓子を出すコーナーです。この中でチラシ下部にあります坂道ウォーキングを全コース制覇した人、全コース制覇した冊子を持ってきた方に粗品を差し上げますということで既にPRを打っております。もしそういった方々がいらした場合は粗品進呈コーナーです。また、心部会のほうで宮前の世代交流をキャンペーン展開します。それに絡めて、宮前兄妹に家族がいたらどんな家族だろうとか、あと、世代交流のキャッチフレーズを考えてみませんかというようなコーナーをお休み処に設置しようと考えております。

先ほど言いました水色のチラシ、フォーラムのチラシの裏面にも、もし何か宮前兄妹の想像図を描ける人がいたら当日持ってきてくださいねというような欄も設けてございます。

こちらは全体で60分ということで、主に3つの体験コーナーがあるんですが、基本的には自由に御参加いただくんですけども、一応15分ごとに区切りをつけてアナウンスして、できればほかのコーナーも体験してください、というようなことで声をかけようという趣旨で進めたいと思います。

それから、5、次のプログラムですね。その体験を経た後に、再びこの大会議室に集まっていただいて、そこで区民会議の提案を両部会の部会長さんから各10分程度で御紹介いただく予定です。ここでは冒頭、宮前ロール、宮前産のお菓子も出して、おもてなししようという計画です。

それから、最後ですが、プログラムの振り返り、コミュニティーを活性化したり、世代交流を深めたり、公園を活性化するにはどうしたらいいと思いますかみたいなことを区民会議委員と当日参加者の方々と自由に話し合ってくださいディスカッションタイムということで、40分。これも後で決めたいと思いますが、最後に前回のようにテーブルの進行役を設けて簡単な発表等の時間も持って、全体で共有を深めていきたいという計画です。

閉会式は、最後に挨拶、閉会宣言等を行う予定です。

以上が計画の概要になります。

続きまして、2ページをお開きください。

こちらに、当日御出席予定で今のところお伺いしております委員さんの役割分担表の案ということで、あくまで案ということで、今日いろいろ調整をさせていただきたいんですが、示させていただきました。

当日の準備ですが、当日は10時に区民会議委員、それから御協力団体等を含めて集合ということで、午前中は各部門の設営ですとか準備、打ち合わせ等に使う予定です。

13時になりますと開場になります。受付、挨拶、開会挨拶は黒沢副委員長、閉会挨拶は宮崎副委員長ということで企画部会のほうで決めております。

区民会議の概要の説明は直本委員長、提案の紹介は各部長です。

皆様、ご自身がどういった役割案になっているかということをごらんいただければと思います。ブランクの欄もありますが、ここはぜひ所属部会の関係の出展や、先ほど言いました体験コーナーのお手伝いや全体の進行支援等をしていただければと思います。

区民活動自慢ツアー中の役割ですが、ツアー案内役①、②、③、④と書いてあります。ツアーは4グループに分かれて行いますので、その案内役ということです。

あと、進行上、皆さんに特に理解しておいていただきたいことを幾つか書いてございます。

まず、4ページをごらんいただけますでしょうか。4ページの上の点線で囲まれている四角です。「受付及びグループ分けの方法」というところです。

当日は参加者を4グループに分けて行動する予定です。まず、受付でお配りする名札シール、それから、大会議室のテーブルを4色に分けて、着席テーブルと色分けでグループが決まるということです。

参加人数が多い場合、少ない場合のグループの数の調整等は受付担当が決定し、司会に伝えるということです。

当日はフォーラムの企画内容に合った規模の参加者を集めたいということで、なかなか難しい面もあるかと思いますが、理想は運営側、協力団体、区民会議委員を除いて30名くらいから集まれば理想規模かなと考えております。逆にまた、少なくとも20名くらいは集めたいなというところです。

きょう皆様へのお願いですが、出身団体・母体等に呼びかけを行いまして、何人くらい来れそうかなという見込み人数を事務局に事前連絡いただくと非常に助かります。人数が読めないと、ある程度準備にかかわる部分もあります。

それから、先ほども説明しましたが、自慢ツアーは受付で分けました、この4グループに沿って行いますが、その後の体験交流プログラム、あと、最後のディスカッションは基本的に特に制限をせずに自由に回っていただいたり、座っていただいた中のグループで進めてはどうかという案でございます。

それでは、ちょっとまた2ページの分担表に戻っていただきまして、補足ですが、当日、事前準備、昼食、会場開会式、この時間は案内役、会場案内ですね。こちらにお座りくださいとか、禁煙の案内をしたり、区民会議に関する展示等をこの大会議室の中でも行う予定ですのでそういった案内をしたり、というのが案内役です。受付は直本委員長と岡委員。太田委員に最初の開会式や全体会の司会進行をお願いできればという案になっております。既にお願ひした団体に、協力をお願いしている活動団体にかかわりのある委員さんは、それぞれ既に公園遊びですとか、世代交流ゲームコーナーですとか、担当を入れてございます。それから、最後の全体会でグループ討議の進行役、記録役等もきょう決められればなと思っております。

私からの説明は以上です。

直本委員長 ありがとうございます。

今の説明で、まだいろんな点、ちょっと疑問な点があるかと思っておりますので、まず、進行、プログラム概要のところと役割分担のところ、その他のところでも結構ですが、まず、ここはよくわからないといったことについての御質問があったら、まず先にお願ひしたいと思います。御意見でも不明な点でも何でも結構です。

福田委員 前日準備は14日の金曜日、17時からですよ。集合場所はどこですか。当日はこの4階ということになっていますが、前日準備の作業開始は15時でございますよね。我々はどこへ集まればよろしいのでしょうか。

それと、もう1つ。私は受付の係になっているんですけども、そのときに案内があって、会場案内の会場図が示されるわけですか。全体の会場ですね。会場の図面。これは我々と同時に来られた方にも見られるところに掲示されるのでしょうか。掲示はありませんか。

直本委員長 参加者にも配られる資料というのは何と何があるのでしょうかね。

事務局 資料の3ページの下のところに参加者の方にお配りするものを記入しておりますが、会場図も入っております。ですので、案内のときは大丈夫かと思っております。

あと、その前の前日準備についてなんですけれども、企画部会でもお話をしていたんですが、事務局だけでも大丈夫かなとは思っておるところですけれども、もしも御協力いただけるようであれば5時に企画課のところへおいでいただけるとありがたいです。

福田委員 わかりました。

ということは、めいめい参加者にはこちらのA4の図面を渡すんでしょうけれども、私の質問は、入り口に大きく書いた図が、会場図があるのかどうかを質問した。ないですね。皆さんがA4のこれを見て判断してくださいということですね。どうなんでしょうか。

大体、町会の祭りとかでは会場の入るところに、何それと何それは何を売っている

とかというのは図を、大きな、模造紙を4倍にするような紙に張っているんですよ。

そのところの横に金一封が張られるんですよ。それを僕はイメージしたものだから。

直本委員長 今の件ですけれども、この日程表にもありますように、それぞれのグループに座っていただいた後はツアーの案内者が案内していく形をとりますので、今のところ自由に動くというところは後の段階だけということになりますので、特にその必要はないかなと思っております。

福田委員 わかりました。

平井委員 広報はどこどこに。広報、この広報、チラシの広報は、もうどこどこに、どういうところに配られているんでしょうか。

直本委員長 今のところ……。では、事務局のほうで今配ったところについてだけ、ちょっと御説明いただけますか。

事務局 では、御説明させていただきます。

今はまだこのチラシができたばかりで、区役所と出張所と行政サービスコーナーという、行政施設だけですけれども、そちらに配架をしております。坂道の冊子ともあわせてお配りをしている状況です。

平井委員 それだけですか。町会の回覧とか、そういうところにはないんですか。

事務局 町会の回覧には、区民会議だよりというカラーのものがございまして、そちらは回覧をお願いしています。区民会議だよりの裏面には、このフォーラムの御案内を…。

平井委員 これと同じ。

事務局 そうですね。内容的には同じ内容が書いています。

平井委員 これは裏に書くようなものがありますね。結局、区民会議をもっと認知してもらうためにフォーラムもやるので、やっぱり自分たちのところだけで集めるのではなくて、参加してもらえなくてもやっているんだということを広報していかないとまずいのではないかなと思うんですね。3月の町会の回覧とか、そういうものもぎりぎりかもしれないですけれども、やっぱりもう少し学校だとか、いろんなところで広報というものも考えたほうがいいかなとは思うんですね。

あと、もう1個。さっきの説明の中で、最初は体験、活動自慢ツアーで案内係、4つのグループに分けてツアーのような形に行くということで、その後は自由にというお話だったんですけれども、ツアーで行くのなら最後までツアーで行ってもらったほうが、活動体験も、そこでばらばらになるとということになると、また今度、15分ごとに分かれるというのも、ちょっと不可能になると思うので、最後までツアーならツアーで行っていただいたほうがいいかなとは思いますが。

直本委員長 今、広報といえますか、参加者の呼びかけ等についての御意見と、それから実際の流れについての御意見と、両方ありました。

これに関連して、どなたかほかにも御意見のある方、いらっしやいませんか。

豊島委員 もうこれはでき上がっているから、もう文句を言ってもしょうがない。文句ではないですよ。文句ではないですよ。指摘。子どもも来られるのがすごく魅力なフォーラムなんです、これって、これをパーっと回覧で配っても子どもは来ないんじゃないかなと思って。だから、子ども会とか、それこそこども文化センターとか、そういう子どもが集まるところにチラシを置かせてもらったら、どうにかいいかな。何かもうちょっと工夫しないと、子どもは来ないんじゃないかなと思うんですが。

済みません。つくった後に色々言って。

直本委員長 ありがとうございます。

それでは、今の御意見いただいた大変大事なことなんですが、まず、区民会議を知っていただくために、できるだけ多くの方に知っていただく。それから、多くの方に御参加をいただくという問題があります。

資料1の1にありますように、ターゲットとして世代間交流の場をつくるためには、親世代も子ども世代もということが1つだと思います。今、先ほどチラシを配ると一緒に呼びかけをどういったところに、そういったためにしたらいいのかなということで、学校とか、あと、こども文化センター、それから学校、子ども会、老人会、老人福祉センター。

どうぞ。今の話に関連して。

山下委員 関連して。

技術的なことなんでしょう、我々は分担ができていますので、会場の図面だけでも最初にもらっておいたほうがいいのではないかなというね。どこに行ったらいいんだか、よくわからないから。

それと、人を集めることについて、実を言うと、今日30人ぐらいの地元の会合があって、3月15日にこれをやりますよと言ってあるので、実際にはそういうところで皆さん方がそれぞれおっしゃればよろしいんじゃないかなという気はするわけ。だから、皆さんがそれぞれ集めてくると、すぐみんな集まるんじゃないかなという気がするわけよね。本当言って。だから、そういうものをぜひやっていただきたいなということですね。

直本委員長 大人についての幅広いところでの御参加を得るといったようなことでの御意見でしたので、地域、町内会等での呼びかけもしていただく。それと同時に、もうちょっと子どもや若い人をターゲットにしての呼びかけがどこで可能かなということも念頭に置いて検討したいと思いますし、できれば皆さんのかかわりの中で、こういうところに頼んで声をかけることなら可能ですよ、というようなところがあつたらぜひ御連絡をお願いしたいなど。

学校の場合ですと、一斉に学校に全部お願いすると、今度は收拾がつかなくなって

も困るかなというところもあるものですから、その辺も踏まえながら、とって、やっぱり来てもいただきたいということもあるかと思えますので、その辺についての若い方、あるいは学生、小学生、中学生、高校生といったような、そういうような働きかけ。それから、地域の住民の方、町内会ですとか高齢者の方ですとかといったところの働きかけができる方。いらっしゃいましたら、自分のところでこういうところが可能だよということ、今この場でもしお願いできるよといったようなことがありましたら御発言をお願いしたいんですが。

平井委員 2月23日に青少年指導員と子ども会とでのディスカバーウォークというものがありますので、そこでは300人ぐらい子どもたちも参加しますので、配ることはできますね。あと、子ども会にその後頼むとか。

直本委員長 ありがとうございます。

今、具体的な形でこういったところにこういう場をつくって働きかけようといったような御発言がありました。ほかの方でも同じようなことで何とか機会があるよという方がいらっしゃいましたら。

時間がありませんので、余りずっとお願いしているわけにはいきませんが、今のことを考えていただきまして、働きかけのできるところ、それから、先ほど3月12日までに見込み人数みたいなどころによっては、また調整を、グループの数をふやす、緊急にふやす必要があれば、そういったことも含めて検討しなきゃいけないかと思えますので、もしそういった働きかけをするところ、それから、さらに参加人数によって変更しなきゃいけないところも出てくるかとも思えますので、事務局のほうにそういったことの御連絡をお願いしたいと思えます。

それから、各委員の推薦、母体団体というんですか。それから、次期委員候補の方につきましても、次期委員候補に挙がっていらっしゃる方につきましても、3月15日にも御出席をお願いしたいというふうな御案内を多分するようになるだろうと思うんですが、それぞれの所属されている団体におきましても、推薦される方以外にもお1人ぐらい、ぜひフォーラムのほうにも御参加をお願いできるように働きかけをしていただければ大変ありがたいなというふうに思っておりますので、この点についてはそれぞれよろしく願いをいたします。

それから、今の後からのお話にありました、受付をしまして、受付で一応、ちょっと見ていただきたいんですが、受付で大体4つぐらいのグループ分けをして、会議室につくってあります席のほうに御案内をする。その後、全体会でいろんな説明を行う。その後に活動自慢ツアーということで、グループごとにツアー案内役の方の案内で回っていただく。これは順番に4つのグループですので、4つのコーナーがありますので、順番にこれをコントロールしながら回っていただく。その後の体験コーナーのところに、一旦また会議室の席に戻りますので、ここで体験コーナーが2つという

ことで、お休みのところもあるのでグループを壊してもいいのではないかということで、この予定をしたんですが、今、御意見にありましたように、もう少しグループということで回ったほうがいいというふうな御意見もありましたけれども、これはほかの方について御意見はどうでしょうか。

田浪委員 これは、このままだと多分自慢ツアー4つ。これは説明を聞くような形が4つ続くわけですね。それから体験を2つする形になります。それは話をずっと聞くだけでも飽きちゃうというのもあるし、それぞれその団体なり活動の説明的な要素が大きいので、一緒にするわけにはいかないんですか。グループのまま動く形で説明を聞いたり、ちょっと体験を入れてみたりというのはできないものですか。

直本委員長 区民活動自慢ツアーと体験コーナーの時間を合体させて、グループで自由に、4グループでも5グループでも自由にそこを回っていただこうと。

田浪委員 あいているところに入っていく。

直本委員長 というような提案ですね。

田浪委員 そうです。

直本委員長 それでは、今の準備はここで結論を出すわけにはいきませんので、企画部会でもう一度その辺、検討させていただいて、現在の形で進むほうが望ましいか、今、御提案のあったような形に急遽組みかえることで流れがスムーズにいくかといったことについては、企画部会のほうに任せていただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

その結果、どういう形になるか、ちょっとわかりませんが、事前にまた皆様方に流れの図を御送付するという形になると思いますので、それに沿って御協力を当日はお願いしたいと思いますが、とりあえず体験コーナーのほうにつきましても、それぞれのまた協力人員ですとか、全体会でのグループ進行等についての御協力といったようなところで、ここにそれぞれ役割についてお願いしたいなというふうに思うんですが、ここをやりますという方、いらっしゃったら。

これはどうなんでしょうね。全体会の際のグループというのは、多分ツアーのグループが基本になって席に座られるのではないかなと思いますので、ツアー案内の方がそれぞれのグループの進行役になっていただく。それから、もう1人ぐらい、それぞれのグループに各委員さんが入っていただいて、そのグループ討議の中でファシリテーターですとか助言者みたいな立場、補助者みたいな立場でそれぞれもう1人、お一方ぐらいずつグループに入っていただければと思いますので、ツアー案内役の方、①、②、③、④ととりあえずなっていますけれども、これはそれで引き続きずっととなりますけれども、よろしいでしょうか。

それでは、ツアー案内役①、②、③、④以外の方で全体会のグループの討議の御協力をお願いできる方。ちょっとここで決めておきたいと思いますので、それだけ、最

低4人お願いしたいと思いますが。

済みません、きょう出席されている方の中から決めさせていただきます。

太田委員は全体司会で入っていますので、太田委員を除いて、ほかの方でお願いいたします。

部会長と委員長はフリーという形をとらせていただきたいと思いますので、それ以外の方で、大村委員、白井委員、福田委員、岡委員と山下委員、いかがでしょうか。

福田委員 受付、会場案内になっているんですよ。

直本委員長 会場案内は……。

福田委員 ずうっと、一時的にこうやって、終了というのが途中であるんですか。それとも……。だから、会場図があるんだから、それを見てくださいと言うぐらいでよければ途中から参加できる……。

直本委員長 案内のほうは受け付けした方をそれぞれの席へ、この席のこういうところへ座ってくださいとって御案内していただくということですので、中心的には当初の……。

福田委員 ところがね。これを見ると、できるかな。備考欄のところに、会場案内は展示・トイレ案内と書いてある。トイレはさ。トイレ案内とかね。

だから、私はずうっとここにいなければ、所定の場所にいなければいけないのかなと思ってね。お子さんが「おしっこしたい」ともし言ったときには「ああ、坊や、こちらだよ」と言うのか。そのように理解していたんですよ。

でなければ私はどこでも結構ですよ。おっしゃっていただくところで仕事します。

直本委員長 兼務ということでお願いいたします。

福田委員 中途半端な仕事はしたくないので、きちんと責任持たないと。

直本委員長 一番最後のグループ全体討議のときは、グループのほうに入っていたかいたと思います。もうこれで最後です。

福田委員 わかりました。では、後で教えてください。

山下委員 フォーラムについてのね。もう時間が45分ですから、もう過ぎているので、要するに、傍聴者やなんかがおられるので、こういう技術的な問題ではなくて、本来のことを進めていただかなくてはいけないのではないのでしょうか。

直本委員長 それでは、役割は、今言った中からそれぞれの方、どなたかに割り当てをさせていただいて御連絡させていただくということにいたしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

フォーラムについて、また御意見等がありましたら、できるだけ早く事務局に御連絡をお願いしたいと思います。

それでは、次の議題でありますけれども、本日までに2年間、第4期の区民会議も経過をいたしました。これに関連いたしましてアンケート用紙を事前に皆様方のとこ

ろにお送りをさせていただいております。本日、意見交換されましたこと等も踏まえまして、第4期のまとめという形にさせていただきたいと思いますので、時間が大分少なくなっておりますけれども、皆様方にアンケートを参考にいたしまして、第4期の区民会議についての意見ですとか、あるいは、今後の第5期に向けての御意見ですとかといったようなことがありましたら、御報告、御意見の発表をお願いしたいと思います。

時間が大変迫っておりますので、お1人二、三分というところになるかと思いますが。

どなたからでも結構です。では、こっちのほうから。

佐々木委員 全体を言うと時間がないと思いますので、私は部会の部会長を今回させていただきましたので、その部分でよかった点は、2年前に区民会議に参加しまして、宮前区のことを知らない代表として参加したような感じなんですけれども、部会の中でいろんなところ、とんもり谷戸とか平瀬川とかを見学させていただきまして、その中で宮前区の地域の課題というものを逆に知ることができた。それをもとに部会の中で皆さんと話し合いながら、結果的に公園を中心としたネットワークをもうちょっとつくったほうがいいかなというような提案までまとめることができました。

ということで、私のような宮前区のことを余りよく知らない人間も、こういう場所に参加することで少し深く知ることができたのかなというのが、よかった点です。

大村委員 区民会議では提案は立派なものをするんですけれども、一向に実行が伴わないということで、区民会議の知名度が低いのはその辺にあるというのは私の主張なんです。

私がそう言うだけではちょっと片手落ちなので、今、花と緑のまちづくり委員会というものがありまして、こちらで公園の関係ですね。花壇をつくろうではないかということで今やっております。ぜひ実らせたいと努力をしようと思っています。よろしくをお願いします。

福田委員 アンケートということなんですけれども、私は、アンケートではなくて省みて、2年間やったことで一番基本的なことだけを頭に入れて考えました。

まず、ここにある会議の関連令規集をもう一度読み直しまして、すなわち条例の22条ですね。こういうところから出発して考えてみました。すなわち区民会議の地域課題の把握方法はどうかであったのか。やはり一番大事なのは、きちんと根本の本質をきちんと踏まえた上で、皆さん会議を運営されたのではないかと。すなわち区民会議は暮らしやすい地域社会の形成を目指して区政を補完する立場であると。これが区民会議の我々の基本的な考えです。立場です。したがって、行政と対立する関係ではない。行政の活動を補完するんだと。行政サービスを補完するんだということを常に心に命じながら参加させていただいた。これが非常によかった、このように反省し

ております。

したがいまして、第5期の方には、こういうことをきちんと踏まえた上でずっとやってくさいということで、継続していただいて課題づくりをお願いしたい、このように思っております。

次の審議課題の絞り込みでございますけれども、区民会議の立場を自覚した上で、課題の選定をとってやったことはよかったと。その中で、区と区民会議、協働参加による実現可能な、なし得る課題を課題として選定した。できないようなことはやらないで、しかも、何かだっ子みたいにあれもこれも欲しいというふうな、金があればできるんだというような見方をしないで、まちづくりはやはり人づくりだと。お金よりも人だということをきちんと踏まえて部会が運営されたことは非常によかったなと思っております。

全体会の会議運営についてですけれども、回数については私は余りはっきりした、言い切れませんけれども、適当というように思います。3カ月に1回程度ということなのですが、基本になるのは焦らないで、焦っちゃやっぱりまずいんだと。課題について解決を焦って、そしてまた後戻りするようなことではいけない。思い込んだら1つずつできることをやっていく運営の仕方がよかったのではないかと。後ずさりをしなかった。すなわちぶれなかったというようなことを感じております。

その次ですか。専門部会の会議運営でございますけれども、前述したことを、ちょっと重複するんですけれども、地域の見学会は非常に私はよかったと思います。宮前区を知らなかったんだけど、委員が全部見回って見学した。ただし、もっと多く、かつ丁寧に見学すればよかったなと思っております。目的とか明確であった点がよかったのではないかと。単にぐるっと回ってきたよというのではなくて、何のために見学に行くかということを中心にきちんと前もって討論、協議して現場に臨んだ。ただし、惜しむらくは現地で、その現地で、何分でもいいんですが、話し合ったほうがよかったと。お茶を飲んで、さっに行くのではなくて、そういうことをやったほうがいいのではないかなと感じました。

その次。区民会議からの提案ですけれども、課題解決については、まず実践してみることだと。人任せ、他人任せ、行政任せのようなことではない。やってみて初めてどこが問題なのかということが、やって初めてわかるんだと。そして、協働という前提を、大前提を踏まえた上で、できることから手をつけていったらどうかと。それをやったのが今4期の区民会議の歩み方だったのではないかと。うぬぼれて反省しております。したがいまして、形成を目指して行う。いわゆる地域社会の形成というのは、前に話したように住みよい、暮らしよい、そして愛着のある地域社会。そういうようなものを目指してやったことは常にいいのではないかと思うんですけれども、これに共有した、そういうことを共有していたのかどうかは、ちょっと疑

問は残ることでございます。

要求より感じていただくこと、行政のほうに何々を要求するのではなくて、一緒にやったことで、ああ、あそこはこうだったなというように、おのずと感じていただくように運営していただければいいのではなかったか。そのようにしたような気がします。だからいいのではないかと思います。

最後の自由なんですけれども、宮前区はよいところとか、よいことがいっぱいあります。自然環境が富んでいるし、文化遺産が豊富だということを感じております。ただし、それを発掘して、発掘してやらないというのが非常に残念だと思っております。この多摩の丘陵、これは万葉の時代から非常に有名なところでございます。向ヶ丘というのは向ヶ丘の丘に、向こうの丘にあるんだというような万葉の言葉がありますけれども、そういうような多摩の横山、こういうところを発掘しながら、できることなら、いろいろな寺院、仏閣もありますが、それを社会科の副読本という形で小学生高学年、中学生の低学年あたりの副読本として採用されるように発掘したやつを整理統合して、そういうようなことをできることなら行政のほうの専門家でお願いしたらどうかな。これが私の、2年間区民会議で参加させていただきまして感じたことでございます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

森山委員 スポーツ推進のほうから推薦されました森山ですけれども、私たちはふだんは大人から子どもまでの男女問わずのスポーツイベントを年間を通して実施することに専念してきました。

この区民会議に推薦されまして環境部会に所属しましたけれども、私たちが今まで思っていた、ふだんのスポーツを何とかしなければいけないということよりも、多方面からの健康に関する御意見が相当あるということが勉強になりました。この1つ1つのテーマに対して、佐々木部会長さんにリードをしてもらいながら楽しいテーマ絞りができたということで、私の知らないこういう体験をしていただいたことには、この場をかりてお礼を申し上げることが精いっぱいなのです。

最後に、自由なテーマ、その他のことに関してで言いますと、総合的に宮前区の住民の環境整備につながるテーマがかなりの比重を占めた。そういうテーマの絞り込みがあったと感じております。そして、こういう絞り込みの御意見を今後のテーマとして、例えば各町会さんにお配りして、アンケートではないですけれども、そういうようなもの、御意見を伺って、各地域ではどう思っておられるのかというところも聞いてみたいなというところが総合的な私の意見です。

ありがとうございました。

本郷委員 私は、グリーンフォーラム21というグループから推薦されてこの会に出てきたわけですが、テーマの絞り込みのときに、私らは現地のいろんな公園を見て回ったり

という提案をしました。ただ、見れたところは時間が足りなくて、こちらの思っていたものの3分の1ぐらいしか見ていないわけです。それに加えて、グリーンフォーラムの希望するところはテーマになったんだけど、そのほかのいろんなグループから推薦された人たちの現場も見たいという気持ちは非常にあったわけですが、その機会は全くなかった。これが反省点だと思います。専門部会を立ち上げる前に、1カ月間かけて、土日かけて、どんどんそういうふうなことを見て回るということが、まず必要ではなかったのかと私は今思っております。

それと、この区民会議の何をすべきかということですね。これはちょうど、ここにいただいた平成24年度区民会議交流会報告書、ここに図らずも阿部さんがしゃべっているんですが、1期、2期、3期、そのテーマを何回繰り返してやっても進化をさせればいいんだということが1つ。それと、それに伴う予算、これもそれなりにつけてある。それをどういうふうにご利用するかは皆、区の問題であるというふうなことがここに出ております。これを専門部会を立ち上げる前にもう一度新しい委員に最初に話をして、そうすると、みんなはっきりとやるべきことがわかったんじゃないかと。そういうふうに思っております。

芒崎委員 私は町会からの推薦で区民会議委員として2年間任期を務めさせていただきました。この間、いろいろ今、町会長ということと、それから、公園の管理、また、ソフトボールということで、いろんなことが今重なってきていましたので、全部会議に出ることはできませんでしたが、この会議を通じまして、皆さんといろいろ意見を交わさせていただきました。こういう場を提供していただいたことに、これからまた地域へ、ここでお話しした皆さんからの意見交換した内容等を、また帰って、地域に持って帰ってできるかなということが、私にとってはこの2年間の大きな勉強でなかったかなと思います。これからもまた、これで終わったからではなくて、また地域へ戻って、こういうことがあったということを入りながら、やっぱり皆さんももっともっと、宮前区はこうやってあるんだよ、区民会議ってこうなんだよということをお話ししていけたらと思います。

先ほどから言われていますように、まだまだ、区民会議って、名前は知っているけれども何をやっているのという方がかなりいらっしゃるんですね。ですから、やはりもっとPR、広報をやっていただけると、もっともっと違う人たちの参加と、いいアイデアが出て、もっともっといい宮前区になるのではないかなと思います。

本当に2年間ありがとうございました。

浦野委員 スポーツ団体のほうから参加させていただきました、川崎フロンターレのフロンタウンさぎぬまの浦野と申します。

3期と4期の2期にわたって参加させていただきましたが、3期に関しましては坂道ウォークの冊子ができ、それを展開する坂道ウォーキングの教室というふうな形で

結びつけができて、何となく形として見えてきたなというところが実感としてあったんですけれども、4期に関しましては、なかなか参加ができず欠席しがちで、御協力が滞ってしまって大変申しわけなかったなというふうに今反省しておりますが、今もって思いますのが、区民会議におきましては、今ここでお話が出ておりましたけれども、認知するということにまだなかなか皆さんが至っていないという、正直私も余り知らなかったもので、これが区民の方に周知されるということは大変難しいことかと思えます。

大事なのは、区民会議が知られるという以前に、そこで議論として上がったことが展開されているということに参加することが大事ではないのかなと思いますので、例えば、ここで上がった議題がどこで展開されていて、区民の方がその情報に触れるということが一番これから心がけていきたいなと思います。

興味がない限りはなかなか自分から情報を取りに行くということは難しいと思いますので、たまたま行ったところに情報があって、その先に区民会議があって、ああ、こういうことかというふうに逆な展開があってもいいのかなと思いますので、きょうの議題というか、討論の中にもありましたけれども、広報という部分ではこれから先もフロントウンさぎぬまのほうでは、いろいろ御協力ができるかと思えます。今回のフォーラムのPRに関しましても、これから高齢の方のグラウンドゴルフや、うちでやっている坂道教室なんかでもお配りすることもできますし、今後展開されるものに関しましても、子どもの集客が大変多いところですので、そういったところで子どもたちが集まる場で紹介して行って、逆に区民会議のテーマに基づくというような感じもできると思います。

具体的に言うと、この公園遊びの中のフォーラムの中でやる自然物のクラフトですとか、丸太切りですとか、そういうようなブースをうちで春祭り、夏祭り、冬祭りというような形でフロントウンを開放してやっているお祭りがありまして、そういうところのブースで展開するようなこともできるかと思えますので、これは1つの具体的な案でつまんでいるんですけれども、今後、5期を開催するに当たって、何かそういったテーマが出たときに、それをPRする場所としてフロントウンさぎぬまのほうでもどんどん協力していきたいと思えます。

役員としてはこの後はもう終了となりますけれども、これから先も御協力をさせていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

藤田委員 2年間を通して専門部会の人数は大人数になりましたので、十分討論する時間がございましたし、その中で実地見学とか、行政の担当の方から本当に実務的なお話を聞く機会を設けていただいて、大変勉強になったと思えます。

ただ、テーマをだんだん絞っていきますので、部会員全員の関心を継続させるという点も難しいと思うんですけれども、その点、部会長さんがいろいろ工夫していただ

いて最後までできたのかなと思います。

これはやはり全体会で今までの提案のその後の経緯といいますか、そういったことを知る機会ができて大変よかったですと思います。

直本委員長 ありがとうございます。

もう時間が少なくなってきましたけれども、お1人1分ぐらいということをお願いしたいと思います。

山下委員 区民会議の認識の問題というのは非常に取り上げられているんですけども、要するに、認知の問題については、やはり委員それぞれがこの区民会議をどういうふうに思っているかということが非常に大切ではないかと思うんですね。実際には区民会議は自治基本条例で決まったからあるというような認識だけでは足りないと思うよね。本当を言ったら。そうしたら川崎市だけにあるような問題かと思うんだけど、実際には川崎独自の問題ではないよね、これは。だから、要するに、民主主義というのは市民が参加するわけですから、どこでも、ほかの市でもちゃんとあるわけで、例えば政令指定都市は20都市あるわけだけでも、最近は岡山とか熊本だとか、そういうところも入っているわけだけでも、そういうところでも、要するに、ちゃんと市民参加のための区民会議みたいなものを設けているよね。だから、そういう意味では、我々がこういう区民会議に参加しているというのは、市民参加なんだという自覚をひとつ皆さん持っていただきたいなという気がするわけ。

だから、要するに、各市を見ると予算審議から情報交換に、いろいろな差があるんだけど、そういうことで、川崎の区民会議はこういうスタイルであるということを確認して、皆さんが市民参加なのだということを自覚していただきたいと思うわけよ。

要するに、政令市の行政区というのは市会議員の選挙区なんだよね。それ以外に市民参加のための区民会議があつていいという、そういうふうに考えていただければいいのではないかなという気がします。

あと2つばかり。それから、進行の状況の中で、今回はほかの市町村の好事例を参考にすることがなかったよね。例えば第2期であれば、かるたというのは、それは委員の方から聞けば群馬県の郷土かるたから持ってきたというよね。第3期では坂道ウォーキングは目黒区の事例から持ってきているわけ。だから、そういうものを見てくると結論が早く出てくるよね。ほかの市区町村の例を見れば。

目黒区の例から見ると、私は実際には目黒区は歩いてみたよね。池尻大橋から目黒川に沿っていろいろ坂道を上ったりなんかして。だから、そういうことをやると、実際には坂道ウォーキングは、こっちの宮前区でつくったときのを、6コースつくったんだけど、それを私も実際に全部歩いているわけ。だから、他区の事例を見れば、引っ張ってくれば、結論が早く出てくるのではないかなという気がしているわけ

です。

例えば目黒区も行ったけれども、例えば3期の全体会で綾瀬市役所の人が坂道のマラソンのことを説明してくれたよな。ああいう例もあるので、よその事例を参考にすると結論が早く出るなということ。

それから、もう1つ。課題の選定の対象は、どうしてもソフトね。要するに公園だとか、そういうことになってくるんだけど、実際には宮前区というのはいい場所で、都心にも近くて、アクセスもいいし、緑も多いし、いいんだけど、どうしてもハードの面が取り残されているのではないかな。ソフトのほかにハード面。だから、ハードの面を課題として取り上げて、それは1期だけで結論を出すのではなくて、ずっと次の期、次の期というふうに位置づけて、討論して考えていく必要があるのではないかなという気がしています。

というのは、宮前区というのは坂道が多いし、地域的に非常に偏っているところが多いし、そういう面でいろいろ、例えば交通だとか施設だとか、そういうものを考えるハードの面の議論が、こういう区民会議では余り取り上げられないのではないかなという気がしているので、そういうところを次々に、1期2年ということに限らず、ずっと議論していく必要があるのではないかなということを考えます。

ほかにもあるけれども、以上のとおりです。

岡委員 住民委員ということで応募して、この会に参加させていただきました。

私も全くこういう会議というのは存じ上げなかったものですから、最初、自分でもうちょっとロングタームで地域の問題解決をできるのかなと思っていたんですが、それはそれで継続審議であるということでしたが、どうもこの2年間を見ていまして、何か追われて、何か結果を出さなければいかぬというふうなことで追われて終わってしまったのではないかなというのが、ひとつ気になるところです。

それから、もう1つ。私は分科会の1つにいましたが、私どもは分科会で何回か出ておりましたけれども、なかなかそこで決められないということで、その間を埋めることを直本委員長だとか、あるいは分科会の大槻部会長さんに、大変おんぶに抱っこしたんじゃないかなというふうなものを大いに反省しております。もっとみずから企画に参加して、時間がありましたので参加できていれば、もっともっと違った形で協力できたのではないかなというふうに思って、それが大変申しわけなく思いますし、大変残念に思います。ということで。

あとはここに書いてきましたので、見ていただければと思います。

太田委員 区民会議というのが私、実は参与でいたときに魅力的だなと思って、それで公募で応募させていただいて、大変だなという思いを2年間考えさせていただきました。というのは、やっぱり宮前区の中のことを知らなさ過ぎるなと思ったんです。

実はきょう、お昼過ぎに、のがわハーモンの皆さんが写真展をしていましたので、

アリーノに行ってみ学したら、公園で子どもたちを育てている。心を育てているわけです。だから、部会が2つ分かれなくても何か1つできたのかな。それでやっているのがある。そういうグループのことをやっぱり知らなさ過ぎるなというふうに反対に思いました。

それから、心を育てる地域と世代部会でよかったのは、小学校のアンケート調査。これはなかなかできないことで、とてもいいことを挙げられたので、もうちょっとそこを深めればよかったかな。ちょっと私としては不完全燃焼で2年終わりましたので、またぜひ機会があればやらせていただきたいと思いますので。

ありがとうございました。

豊島委員 冬季オリンピックから冬季オリンピックまでの間の4年間をやらせていただきました。

こんな私でも本当に企画課の方が優しくて、ありがとうございました。本当に。

それから、やっぱり私、4年間やって本当にわかりませんでした。この会議が。これだけの面々がいて、行政の方があれだけ集まって、議員さんも来て、何でもこうなんだろうと思って。だから、もし5期には、もうちょっと、もうちょっと、やたら厚いものを用意するのではなく内容のあるもの、そうしたら区民の人もわかっていくんじゃないかな。だって、ここがわかっていないもの。区民の人がわかるわけないんです。

だから、もうちょっと、本当にもったいないと思います。もっともっといい会議になると思うので、あたしは卒業しますが頑張ってください。

田浪委員 子育てネットワークのほうから推薦していただきました田浪です。ふだんは子育て中のお母さんとか、子ども視点でいろいろ物を見る方々と接していたんですけども、ここの区民会議に来て、本当にいろんな団体、いろんな方々と議論をする中で、いつも見ていたのと全然違う方向から見ている方が多いんだなというか、そういう交流ができて、経験ができて、本当に自分としてはとってもいい経験になりました。課題を1つや2つにまとめるというのは本当に難しいんだなということも、つくづく感じました。

ただ、やっぱり時間がすごく足りなかったなという気持ちがありまして、本当に企画課の方におんぶに抱っこで全てまとめていただいて、それに乗っかっているような感じが私もやっぱり受けたので、もう少し、何かあったときには自分たちで足を運ぶ。ただ来てもらって話を聞くだけではなくて、自分たちで足を運んで、何かを見に行く、聞きに行く、探しに行くという努力をもっとやっぱりしなくちゃいけなかったかなという思いはあります。

平井委員 安心安全まちづくりということで、青少年指導員がその中にかかわっていますので、青少年指導員の立場から参加させていただいて、2期務めさせていただきます。

した。今期は仕事の関係とかで会議なんかで欠席することが多かったんですけども、皆さん優しくしていただけて、会議運営にも時間に合わせていただいたりとか、わがままをさせていただきました。

今回、自然、心を育てる世代交流ということで、私のライフワークのネイチャーゲーム、自然とかかわるとというのが、今回もう1つの部会の自然のほうと一緒にやって全体会の中で1つにできたということが、最後によかったかな。2つばらばらではなくて、1個、1つその中にかかわれたということで、よかったかなと思っています。

あとはもう皆さんと考えが一緒です。いろいろお世話になりました。

大槻委員 心を育てる地域と世代部会、部会長をやったんですけども、十分にまとまらなかったなというような心残りがあるところでございます。

あと、意見としては、知名度の問題、いろいろございますけれども、テーマ設定に当たっては区民の意識をもっと酌み上げるようなやり方、そういうようなことが1つできないだろうか。それから、もう1つは、委員個人のみならず、所属団体から出ている方もいるわけですから、その団体からも課題をいろいろ出してもらおうというようなことを考えたらどうなんだろうかなというようなこともありました。

それから、課題として、やっぱり身近な課題だけではなくて、広い視野を持って宮前区の課題を取り上げる。先ほども何人かの方がお話がありましたけれども、そういうようなことが必要なのではないだろうか。

高齢化が急速に進んでいる宮前区でございますので、若者が住みたくなるような魅力ある区にはどうするんだというふうなことが非常に重要だろうと思うんですね。そのためには1期だけではなくて継続して検討していくことも必要だろうと思います。

直本委員長 両副委員長さんは省略させていただきます。

本日、最後の区民会議ということで、まだまだ意見の言い足りない方もいらっしゃると思いますが、アンケートに書いていただきましたものを事務局に御提出いただくようになっておりますので、その中でまた全体的に事務局でまとめていただいて、第4期の区民会議のまとめという中に入れていただく形にさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

時間がちょっと押しておりますが、この後、終わりました後、また参与の方々との意見交換の場がありますので、参与の方にはその場でまたいろいろお話しいただくということで、この場では本当に一言。時間がないので一言だけ何かございましたらお願いしたいと思いますが、よろしい……。

それでは、後ほどの意見交換の場でお話をいただくということで、第4期の区民会議を、この会議をもって終了させていただくということになります。

私は委員長といたしまして第4期の区民会議を務めさせていただきました。皆様の御意見にもありましたように、区民における区の課題というのは、もう本当に身近に

たくさんある。今期も47という多くの課題が提案されました。このように課題というものは、もういつまでたっても多分なくならないだろうと思いますが、区民会議に限らず、課題の解決の最終的な力といたしますのは、やっぱり区民の方の協力、理解、地域の方々の理解、協力、これに最後はたどり着くんだらうと思います。そういったような地域の区民同士の結びつき、理解、協力、こういったものが平素からつくれるようなものをいろんな形として、いろんな場で土台づくりをしていきたいなど。それが大きな宮前区の発展、充実といったことにつながっていくんだらうなと思います。

各委員さん方、本当に2年にわたりまして御協力ありがとうございました。行政の方々も本当にありがとうございました。

先ほどの発表にありましたように、区民会議は終わりますけれども、私たちが提案いたしました課題の実行、実現というものはこれからでございますので、区民会議の任期を終える方が私を含めて何人かいらっしゃいますけれども、引き続いてこれの実現等についての御協力を皆様方とともに進めさせていただければありがたいなと思っております。

以上をもちまして本日の区民会議全体会を終了させていただきます。ありがとうございました。

それでは、区のほうにマイクをお返しいたします。よろしく願いいたします。

司会（日下部） 直本委員長、どうもありがとうございました。また、委員の皆様におかれましても大変長時間にわたりましてお疲れさまでございました。

閉会の前に事務連絡をさせていただきます。

（事務連絡）

3 閉 会

司会（日下部） 本当に長時間にわたりましてお疲れさまでございます。（拍手）次は本当の最後になりますが、第4期区民会議の成果の発表、3月15日、フォーラムということになります。フォーラムの成功に向けまして事務局としてもサポートをさせていただきたいと思っております。

きょうは本当にどうもありがとうございました。これにて終了とさせていただきます。

午後7時33分閉会